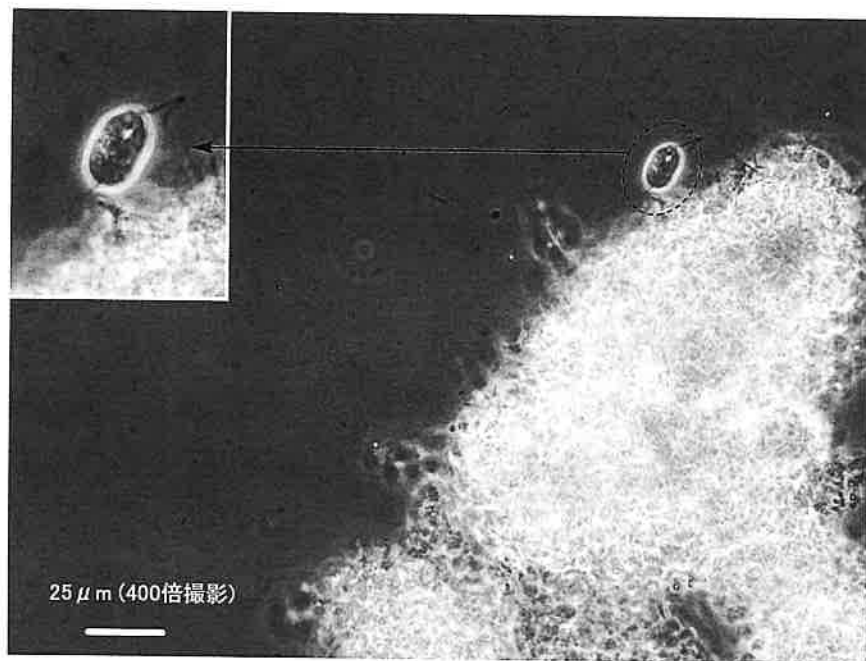


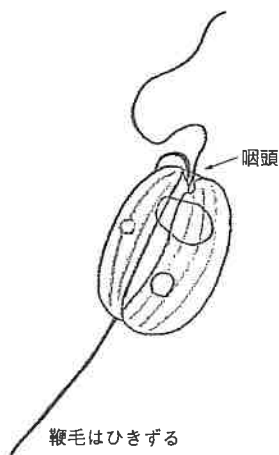
(26) エントシフォン (*Entosiphon*)



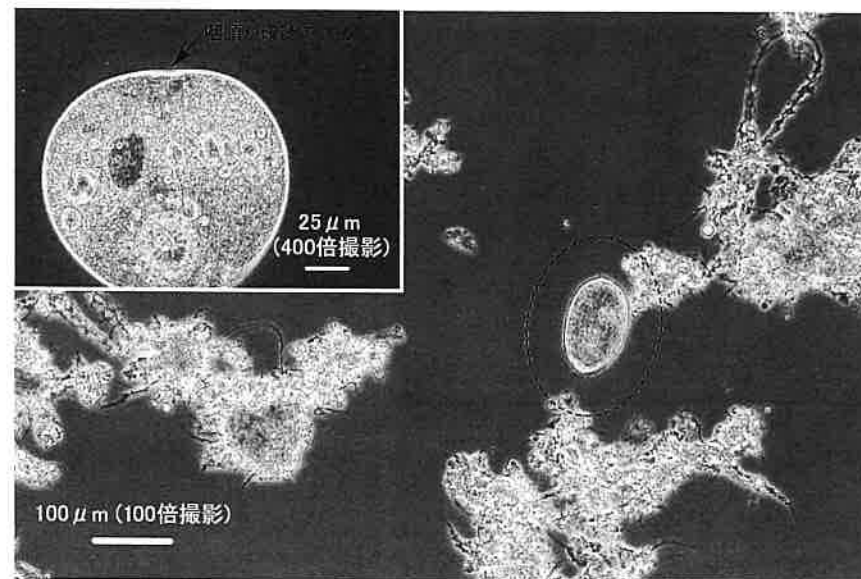
体長の大きさ：30～50 μm

エントシフォンは植物性鞭毛虫類である。虫体は卵形で、鞭毛の付け根付近から虫体の末端まで虫体と同じ長さの咽頭をもつ。鞭毛を2本もち、そのうち1本は虫体後部にひきずっている。

出現環境は良好期から解体気味になった頃で、処理水は良好な時が多い。溶存酸素不足に強く、一度出現すると、その後、酸素不足になっても生き残っていることも多い。



(27) プロロドン (*Prorodon*)



体長の大きさ：100～150 μm

プロロドンは長楕円形で大きく、ゆっくり回転しながら遊泳する。虫体の頭頂部にストロー状の咽頭をもち、咽頭の先端に細胞口がある。餌は細胞口から摂食するが、分散状細菌に限らず、原生動物やワムシ類でも細胞口に付着させて摂食する。原生動物など大きい虫体を摂食した直後に、摂食した生物の影響で体形が変形したプロロドンが観察されることがある。

出現環境は負荷が低い解体初期が多い。プロロドンはストロー状の咽頭をもつところはキロドネラ(9)と似ており、Ⅲ群に含めたいところだが、出現するまで一定の長さの汚泥滞留時間が必要であり、出現時期がⅤ群に含まれるためⅤ群とした。

